

「横浜北部まちづくり交流会」 報告書 (2区交流会改め)

日時：平成23年12月16日 3時半～5時半

場所：ビオラ市ヶ尾 会議室

主催：青葉区民会議、港北まちづくり区民の会

参加：22名（港北区5、青葉区10名、緑区4名、都筑区3名） 青葉区役所2名（浅野係長 尾林担当職員）

* プログラム *

第1部 各区からの報告（最近の活動から）

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 青葉区民会議の報告 | 加茂（青葉区） |
| 2. 港北まちづくり区民の会について | 川中（港北区） |
| 3. まちづくりネットワークみどりについて | 田中（緑区） |
| 4. 都筑魅力アップ協議会について | 山岸（都筑区） |
| 5. まちづくりに大切な情報収集 方法について | 小池（青葉区） |

* 報告内容は別紙

第2部 交流会茶話会

Aグループ10名

港北(福留・小出) 青葉(小池由・加茂・大野・大友) 緑(中島・佐々木) 都筑(川手・福富)

Bグループ12名

港北(大川・清川・川中) 青葉(小池仁・関・鈴木・松下・嶋田・伊東) 緑(田中・池田) 都筑(山岸)

Aグループ報告

司会進行：小池 記録：大野

■自己紹介

緑(佐々木)：放射能問題など環境方面に関心あり、環境部会に所属

港北(福留)：港北区の課題と我々組織の今後のあり方に関心あり

港北(小出)：広報を担当、来年で終わる区民会議のその後のあり方に関心あり

都筑(川手)：われわれ取組み主体の置かれる今後の活動環境に関心あり？（聞き取り不良）

都筑(福富)：水と緑の環境と北部4区の連携活動に関心あり

緑(中島)：一日一日をどう生きがいを持って過ごすかに関心あり

青葉(大友)：部会は健康福祉、仙台出身なので災害時弱者問題に関心あり

青葉(大野)：区民会議活動では自然環境、自分の自治会活動では防災・減災に関心あり

青葉(小池)：自分の活動が上手く周りとの世代へ活かせるように活動している

青葉(加茂)：学童支援や緑の維持に関心あり

■意見交換

青葉(小池)：新しい交流会の第一歩としたい、区を超えて広域で解決すべき課題もある、今後どういう組織、集まりにしたら良いのか

緑(中島)：正解はない、自分の課題解決に適した組織や集団づくりをしていくしかないのではないか

青葉(小池)：青葉のように区の制度に位置付けられるものは良いが、都筑は区との関係はどうなっているのか。

(参考：現在制度としての区民会議は青葉・港北だが、港北は来年少自立を求められている。緑区は既に区民会議は解散し任意団体となった。都筑区はもともと区民会議が無い。)

都筑(福富)：当初区の呼びかけで始まった委員会だが最初の2年だけ制度としての活動できたがその後予算が無いとの区の意向で任意団体となった。その後人も代わり都筑魅力アップ協議会のいきさつから説明しなければならない事態に。その中で区には活動報告会などの参加を呼び掛けている状況である。

都筑(川手)：活動の成果報告を行政に広く聞いてもらいたく、市や局に直接呼びかけたことが、区にとっては頭越しととられ関係が悪化したことがあった。今後は段階を踏んで慎重に進めたい。

- 都筑（福富）：港北区も関係を断たれるのは勿体ないので食い下がってみては。
- 港北（小出）：青葉区の関係の良さを目標に活動していたが、どうも自己満足の活動に終わったようで、区も関係を終わらせる意向を固めたようだ。
- 港北（福留）：区民会議の終了はもう何年も前に通告されていた。やはり市の要綱¹の廃止が大きく、区も区民会議の廃止を決めたようだ。われわれの継続を願った活動も通じなかった。関係継続は求め続けてきたがこのような状況となった。
- 都筑（福富）：都筑も区民会議の設置を求めてきたが、区からは連合町内会がその役割を果たしているとの理由で断られている。しかし活動としては連合町内会はじめ他の諸団体と連携はできている。
- 港北（福留）：連合町内会とは違う活動をしなが、連合町内会と連携を保っていくべきだが、どうも連合町内会との連携が取れなくなったなってきたという反省がある。独立したあとでもどこかで行政と繋がっていきたい。
- 青葉（小池）：こういう状況で、区とうまくいっている青葉区として、4区のためにどんな活動ができるのか。一つは先にも紹介したような情報共有ツールと思うが。
- 青葉（大野）：全市交流会を拡大してはどうか。市が面倒をみている間に、オブザーバーとして参加区を増やし、市に認識させるのは有効と思う。
- 都筑（福富）：栄区同様区民会議の無い都筑区としては16区が参加した全市交流会や北部3区交流会が羨ましくもあった。オブザーバーでも参加できてうれしかった。今後“まちづくり”という共通理念のもとに全区レベルの組織化ができないか。市の認識も変わっていく。都筑区は連合町内会も参加した委員会～協議会という背景があるが青葉区などはどんな関係なのか。
- 青葉（小池）：連合町内会との結び付きは強くない。連合自治会推薦委員もあるが、その役割も弱めている。両輪との意識はあるが、実際は付かず離れずの関係。
- 緑（中島）：区との繋がりは区毎のいきさつもからんでいるが、青葉区の場合は区からその活動を“評価”されているということではないか。行政から評価される活動、実力をつけることが必要ではないか。
- 港北（小出）：逆に区から期待されているというプレッシャーは無いか。
- 青葉（小池）：プレッシャーは無い。地域振興課は市民活動支援が目的でそれぞれの団体の自主性・思いを大事にするが、区政推進は区の方針に則った事業展開でそこには区民のニーズが根底にあり、その区や市の方針と区民意識を踏まえた提言なり活動が求められている。これが区民会議の存在意義と思う。これを外れると地域振興に行く、すなわち任意団体と位置付けられるのではないか。
- 港北（小出）：区政推進的活動をするためには、個人個人のレベルが高くないと出来ないのではないか。また区民ひとりひとりの価値観も違う。
- 都筑（福富）：都筑区は沢山の市民団体が交流し活動し成果発表できる場がある。地域振興課の支援を受けている。今年はテーマ別に発表する。そんな活動が参考にあるのではないか。
- 青葉（小池）：今後も年1回くらい集まっていきたいが。
- 港北（福留）：まちづくりというテーマで括っていただければ幸いである。
- 都筑（福富）：横浜丘の手というネーミングはどうか。
- 青葉（小池）：名前を替えて続けていきな。
- 青葉（大野）：テーマや具体的な進め方は各区代表の方できめていきたい。
- 都筑（福富）：メール網での情報交換が良いのではないか。
- 青葉（大野）：全市交流会を拡大するというバックアップ策を推進願いたい。
- 青葉（大友）：港北の金銭による支援打ち切りは不可解である。
- 港北区（福留）：金銭の問題ではなく制度問題である。

¹ 区民会議事務取扱要綱 昭和50年 区長依命通達 国会図書館所蔵(注)その後改定が続けられた
http://memories.lib.city.yokohama.jp/cats/doc/01/9010458152_web.pdf

■自己紹介

青葉（小池仁）：自治会長を5年間し、防災から何かできないかと思っている。（安心・安全）

青葉（伊東）：（安心・安全）の活動をして7年目になる伊東さん

青葉（嶋田）：昨年の9月から地域貢献したいと思い（安心・安全）で活動

区民の声を取り上げるように提案している。

区民会議は自治会とは、違う活動ができる。

テーマによってまちづくりで交流してはどうか。

青葉（鈴木）：川グループに入って活動（自然・環境）

都筑（山岸）：テーマ性の発信は多い。自治会とは違う。

青葉（松下）：自治会長をしていた。（自然・環境）を6年ほど活動しているが、人数が減っていく、これは提案が、実現されないからと考えられる。

緑（田中）：自治会にも入っている。区民の会を自治会は、理解している。

あちらこちらに、近い距離で皆が集まれる拠点が欲しい。プラットホーム化。

緑（池田）：神奈川大学でだるま防災講座を行っている、防災活動をしている。

市民と鉄道関係の会社等で共同して防災訓練を行うことも重要である。

防災が弱いのは、区に防災組織がないから。

青葉（関）：自治会の推薦から区民会議（自然・環境）に入った。

■意見交換

港北（大川）：港北区は、今期までは、区が事務局をしてくれるが、その後は他の会と同じように独立をするように、と言われている。4月には、小川新区長とも挨拶を交わした。

また、自治会町内会長とコミュニケーションを取りあうためにも来年の5日に行われる

港北区の賀詞交歓会に参加して自治会長との意見交換ができればと考えている。

区民の会（区民会議）は、市の方針として一般の会と同様に独立していただきたいとの方向になっているのではないかと感じられる。

青葉（複数）：横浜市としては、区民会議の廃止を決めてないと思う。

（区民会議事務取扱要綱が廃止された後も全市交流会の予算は市民局に計上されており全市交流会が実施されている）

区民会議の提言に対して青葉区役所は対応している。

区政推進課広報相談係が事務局を担当し、運営委員会や部会に関わる印刷などは区が分担している。。

各部会ごとに部会運営としてそれぞれ会費を集めている。

緑（田中）：廃止するとの通達はなく、自主独立で行っている。

都筑（山岸）ほか：防災については、4区まとまって行った方がパワーが出る。

青葉（松下）：自治会と区民の会は昔対立があり、その後まだ名残が残っているのではないか。

*結論は出ないが、方向性として次のようであった。

1. 港北区の区民の会が、区から独立することに、特に問題提議はなかった。
2. 防災については、区を超えて考える必要がある。
3. 防災について先ず、4区でまとまって考えた方がいいのではないか。

横浜北部まちづくり交流会会計

収入

200円22人	4,400
---------	-------

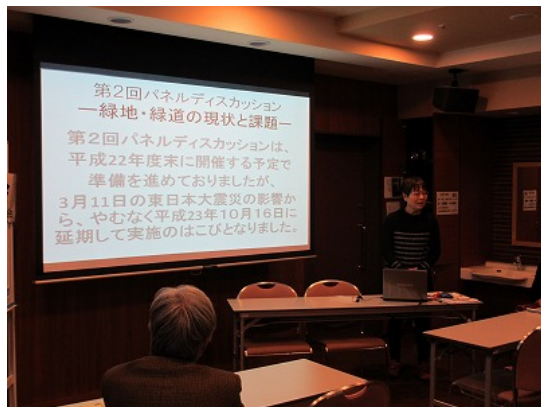
支出

コーヒー	420
クッキー、おかき	3330
お茶、牛乳	300
チョコ、キャンディ	350
合計	4,400



港北区 川中さん

緑区 田中さん



都筑区 山岸さん



Aグループ

Bグループ